

## [ポスター1]

### 森八郎博士の業績紹介と『森八郎博士のアーカイブ』設立について

○杉山真紀子<sup>1)</sup>，森正明<sup>2)</sup>，辻英明<sup>3)</sup>，廣瀬博宜<sup>4)</sup>，小谷野匡子<sup>5)</sup>，朝長昌樹<sup>6)</sup>

<sup>1)</sup> ㈱オフィスエス・地球環境ラボ <sup>2)</sup> 慶應義塾大学保健管理センター

<sup>3)</sup> 環境生物研究会 <sup>4)</sup> 廣瀬産業㈱ <sup>5)</sup> ㈱絵画保存研究所 <sup>6)</sup> ㈱雨宮

## Introducing the Works of Dr. Hachiro MORI and Establishing the Archive of Dr. Hachiro MORI

### I. 森八郎博士の略歴と業績の紹介

都市有害生物管理学会（旧名称・日本家屋害虫学会）の創設者の森八郎博士（1912－1987）は、東京帝国大学（現・東京大学）の農学部農学科を主席で卒業。同大学院特別研究員に選定され、同時期に海軍におけるマラリアに関する研究に任命される。慶應義塾大学教授、同大学医学部予科教授、東京大学研究員として教鞭をとられた。1950年に藤原三代遺体研究保存委員会委員に任命される。1952年に東京大学より農学博士の学位を授与される。日本衛生動物学会評議委員，厚生省衛生検査指針審議会専門委員，全日本しろあり対策協議会理事・同薬剤認定員会委員，慶應義塾大学生物学教室主任。同大学より義塾賞を授与される。他多数の職務を歴任。東京国立文化財研究所保存科学部生物研究室調査研究員。文部省科学研究費特定研究「古文化財の虫害防除法の開発」研究組織代表を勤める。1979年紫綬褒章を賜る。（財）文化財虫害研究所を設立・理事長に就任。同年に日本家屋害虫研究会を設立。自宅に産学合同の家屋害虫学講座を開講。1986年に勲3等・瑞宝章を授与される。1987年永眠。

業績は、応用昆虫学に関する研究，文化財に対する薬害の研究，藤原氏遺体の動物学的調査とその保存処置の報告，しろありの被害とその防除，殺虫剤および放射線による害虫駆除の安全使用法の指導，文化財を加害する各種の昆虫の同定，燻蒸剤の影響の調査，国宝・重要文化財建造物の保存，日本全土におけるシロアリの分布と被害調査，社寺・仏像の生物被害調査などの211報の論文を発表。新聞に執筆を61報。シロアリなどに関するテレビ主演を30回。ラジオ出演17回。著書多数。

### II. 『森八郎博士のアーカイブ』を設立について

2009年に、当学会は森八郎博士のご遺族から貴重な資料を寄贈いただきました。これらはダンボールの箱で40個ぐらい有り、森八郎博士のシロアリ被害調査中の写真ネガー、国宝級の社寺などにおけるシロアリの被害の写真ネガー、博物館から依頼を受けた加害虫の同定の為に製作された昆虫標本の数々です。当学会は、学術的資料として公開する事を2017年1月の役員会で決定いたしました。公開の方法については、今後、会員の皆様と検討いたします。